

2022 年度第 1 回東海大学医学部付属病院医療安全管理業務監査委員会議事録

1. 開催日時：2022 年 10 月 4 日（火）14:00～15:35
2. 開催形式：Web を用いたオンライン開催
（東海大学伊勢原校舎 5 号館 5 階会議室）
3. 出席者：
【監査委員】安田 委員長代行、大塚 委員、山口 委員、千野 委員（欠席：三木 委員長、細野 委員）
【病院側】渡辺 病院長、大上 副院長/医療監査部長、
横田 看護部長、鈴木 薬剤部長、古屋 医療監査部次長/医療安全専従医師、
上村 医療監査部次長、水元 医療監査部次長/医療安全対策課長/専従医療安全管理者、
沖 医薬品安全管理責任者、山野 医療監査部付医師、堤 医療安全対策課/看護師、
平井 医療安全対策課/専従医療安全管理者、清水 医薬品安全管理室/医療安全専従薬剤師、
鈴木 医薬品安全管理室/医療安全専従薬剤師、川添 医療機器安全管理室/医療安全専任技師、
栗木 医療安全調査課長、中村 病院運営企画室シニアマネージャー/経営企画、
桑久保 病院運営企画室シニアマネージャー/総務
石坂・飯塚・須田 医療安全対策課/事務局
4. 配布資料：1) 監査委員会次第 2) 医療安全管理業務の実施状況
5. 監査概要
 - 1) 出席者紹介（監査委員会規程第 4 条第 3 項により、安田委員が委員長代行に指名された。）
 - 2) 監査委員会の成立
監査委員会規程第 5 条第 3 項により、委員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立した。
 - 3) 医療安全管理業務の実施状況について
 - ①医師のレポート提出率を向上のために、非常勤医師への医療安全教育の実施、画像レポート・病理報告の未読への対応、事故調査制度の該当事例について、高難度新規医療技術の申請状況について報告。
 - ②インシデント/アクシデントレポート経時的分析による 2021 年度の分析結果、レポート・事例検討と安全対策について報告。
 - ③薬剤関連のインシデント・アクシデントレポートのまとめ、同種同効薬剤の重複投与事例・化学療法入院前データ未確認事例の検討と対応策、外来処方の疑義照会事例、未承認薬・適応外使用薬の使用について報告。
 - ④2021 年度下半期における医療安全管理業務の実施状況について、禁忌医療機器装着（持続グルコース測定器 CGM/FGM）によるレントゲン撮影事例の対応について報告。
6. 監査結果
 - 1) レポートの未読解消やアラームが鳴り続けている問題についての対策は、対策案を立てて実行すれば解決するというレベルの問題ではなく、様々な背景や原因があつてのことであり、引き続き取り組みが必要である。継続して原因調査と対策の検討をお願いしたい。
 - 2) 2 つの医療事故調査の点について、原因分析と再発防止策を明らかにすることが医療事故調査の目的と思うため、最初の段階の院内事故調査においてそれができていれば患者さん側も医療事故調査・支援センター調査の申請ということには至らない。今回報告いただいた 2 事例も院内事故調査でその点がきちんとできていたと推察されるため、引き続きお願いする。
 - 3) 薬剤の処方に関する疑義照会について、繰り返しの疑義照会があるということで、電子カルテのシステム上は対象の疑義照会があつた場合に修正機能がないという問題が前回報告されていた。

今回はそのシステムに修正機能を追加することを作業しており、その動作検証中であるということなので、こちらについても引き続きお願いする。

7. 総 評

医師のレポート提出率の増加や未読レポートの減少、あるいは外来処方疑義照会事例の対応など、進展がみられている。また、医療機器についても問題点を整理して安全対策が進められている。一方で、再発防止が難しいインシデント・アクシデントがあり、事象レベル 3b～5 は 1 年間に約 200 件発生している。引き続き安全対策に取り組んでいただきたい。

8. そ の 他 :

- 1) 2022 年度第 2 回東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会の監査項目について
 - ・課題、意見等があればメールにて、事務局まで連絡をお願いしたい。
 - ・施設巡視の実施については、コロナの状況を見ながら開催方法の検討を行う。
- 2) 第 2 回の開催時期
 - ・2023 年 2 月下旬～3 月中旬を目途に開催予定。

以 上